

平成28年度 国立江田島青少年交流の家教育事業

教員免許状更新講習「授業づくりに活かせる体験活動」 ～海が学校！海が先生！～ 実施報告書

【趣 旨】 小学校教員等が体験活動の意義について理解するとともに、「海」を中心とした基本的な体験活動指導技術を、実習を通して身に付ける。また、学習指導要領における体験活動の取扱いを理解し、教育課程の編成や教育活動に体験活動を取り入れる方法を講義や実習を通して習得する。

【主 催】 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立江田島青少年交流の家

【期 日】 平成28年12月25日（日）～12月27日（火） 2泊3日

【会 場】 国立江田島青少年交流の家

【対 象】 平成29年3月31日及び平成30年3月31日が最初の修了確認期限の者で以下に該当する者。

小学校・特別支援学校（小学部）に教員として勤務している者

小学校・特別支援学校（小学部）教員として任命・雇用される見込みのある者

（非常勤リストに登録していること・採用内定がされていること等）

小学校・特別支援学校（小学部）教員勤務経験者

その他の校種の者（養護教諭・栄養教諭は除く）も、本講習に興味がある場合は受講できる。

【参加者数】 17人

【講 師】 広島大学大学院教育学研究科 教授 林 孝
広島大学大学院教育学研究科 教授 曾余田 浩史
大柿自然環境体験学習交流館 館長 西原 直久

【企画・運営のポイント】

（1）教員の体験を豊かにする

教員自らが自然体験活動等を行うことにより、体験活動の意義や教育的効果を体感できるようにする。そのために「海辺の生き物観察と指導法」や「カッター研修」、「野外炊事」を行うこととする。

（2）「体験と知識を結びつけるプログラム」で研修効果を高める

人間関係づくりに始まり、体験活動、それを踏まえての講義・内容のまとめという流れを作り、体験と知識を結びつけながら理解を深められるようにする。

（3）宿泊研修で受講者（教員）間のネットワークを築く

受講者（教員）が児童・生徒の宿泊研修と同じように寝食を共にし、学び合い・語り合うことで、教員間のネットワークを築くことができるようにする。

【活動の実際】

(1) 内容 「教科指導、生徒指導その他の教育の充実に関する事項」(選択 18 時間分)

- ①〔講義〕教育の課題に関する理解 (1.5h) 広島大学大学院教育学研究科 教授 曾余田 浩史
(内容) 教育の現状と今日的な課題に関する講義
- ②〔講義〕体験活動に関する理解 (2.0h) 広島大学大学院教育学研究科 教授 林 孝
(内容) 体験活動の意義や学習指導要領における「体験活動」の位置づけに関する講義
- ③〔実習・講義〕体験活動に関する技能の習得
 - ア〔実習・講義〕カッター研修 (2.0h) 国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職 森下 泰至
(内容) カッター研修の教育的効果に関する実習・講義
 - イ〔実習〕野外炊事 (2.5h) 国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職 森下 泰至
(内容) 宿泊活動でよく行われる「野外炊事」の基礎的な技術を習得する実習
(かまどづくり・炊事・安全指導など)
 - ウ〔実習・講義〕海辺の生き物観察と指導法 (6.0h)
江田島市教育委員会学校教育課
大柿自然環境体験学習交流館 館長 西原 直久
(内容) 海辺の生き物の観察及び採集を行い、実物体験の意味と指導法を理解する実習・講義
 - エ〔実習〕レクリエーションの意義と指導方法 (2.5h)
国立江田島青少年交流の家企画指導専門職 夏森 清孝
(内容) 子供同士の関係を円滑にするためのレクリエーションの意義と指導法を学ぶ。
- ④ 履修認定試験 (1.5h)

(2) 日程

【1日目】

	10:00	11:00	12:00	13:00	15:00	15:30	19:00	19:30	21:00	22:30
	ガイ開講式	講義・実習 レクリエーションの意義と指導方法① (1.0h)	昼食 休憩	講義・実習 体験活動に関する技能の習得【カッター研修】 (2.0h)	休憩	講義・実習 体験活動に関する技能の習得【野外炊事】 (3.5h) *食事・休憩(1.0h)を含む	休憩	講義・実習 レクリエーションの意義と指導方法② (1.5h)	休憩 入浴 就寝準備	就寝

【2日目】

	7:10	7:50	9:00	12:00	13:30	16:30	17:00	17:30	18:30	20:30	22:30
朝のつどい	朝食 休憩	講義・実習 海辺の生き物観察と指導法① (3.0h)	昼食 休憩	講義・実習 海辺の生き物観察と指導法② (3.0h)	休憩 夕べのつどい	休憩	夕食 (情報交換会)	休憩 入浴 就寝準備	就寝		

【3日目】

	7:10	7:40	8:40	10:40	11:00	12:30	13:30	15:00	15:30	16:00
朝のつどい	朝食 休憩	講義 体験活動に関する理解 (2.0h)	休憩	講義 教育の課題に関する理解 (1.5h)	昼食 休憩	履修認定試験 (1.5h)	退所準備	閉講式	解散	

※自然条件により、屋外プログラムを屋内プログラムに変更する場合があります。

(3) 活動の様子



レクリエーションの意義と指導方法



カッター研修



海辺の生き物観察と指導法

【成果】

- 教員自らが児童生徒と同じ目線で体験することで、体験活動に関する基礎的な知識や技能を身に付け、その良さを実感できた。
- 事業全体の満足度が満足 82%、やや満足 18%とあわせて 100%の肯定的評価を得たことに加え、「内容も現場で生かせるものであった」「興味のわく内容」「将来に役立つ」という記述がアンケートにも見られた。

- レクリエーションの実習の際には、教員自身が児童・生徒の立場に立って様々なアクティビティに取り組むことで緊張もほぐれ、自然と参加者同士の声の掛け合いも協力的な親しみのあるものとなった。その後の野外炊事での交流の深まりにもつながった。
- 海辺の生物観察と指導法の講義の際には、参加者一同が、カブトガニ等の様々な海の生き物に積極的に触れたり、写真に収めたりすることで、その生態を指導に生かす利点を実感できていた。
- 実習を多く取り入れたことで、参加者は体験的に学ぶことができた。「教師を目指すきっかけとなった思い、初心を思い出し、何度か感動で涙が出そうでした。」という感想も見られた。

【今後の課題】

- 「海辺の生物観察と指導法」は雨天のため室内での活動となった。今後は送迎用のマイクロバスを事前に手配しておき、雨天時であっても、海辺まで行って短時間でも体験活動ができるように計画する。